

ハノイ首都大学訪問報告

令和2年1月4日(土)ベトナム社会主義共和国の首都ハノイ市にあるハノイ市立ハノイ首都大学を訪問し、国際交流協定締結の打合せ・締結セレモニー及び市内の3つのキャンパス視察を実施しました。

昨年11月に同大学訪問の際、同大学の教育学部学生の仙台大学大学院受入および同大学に新設されたスポーツ健康科学学部との交流等に関して打合せを実施し、これに基づき、ハノイのノイバイ国際空港近辺に整備されたスポーツ健康科学学部キャンパスを視察の上、国際交流協定締結に向けた動きとなりました。

新キャンパスは、同国際空港から車で10分程度の場所に整備されており、短期滞在施設も設置されていました。

ベトナムは1月初旬も通常学期であり、土曜日も日本語学習カリキュラムの授業が実施されていました。



ハノイ首都大学スポーツ健康科学学部キャンパス (google map より加工転載)



日本語学習では、日本語習得のみならず、右の写真のように、「報連相(ホーレンソー)」など日本人教育にも当てはめるべき社会に出てから必要な生活習慣に関する各種標語も多数掲示され、就業に関するベトナム人の勤勉性を増進させる教育も実施されており、人口構成の若さも含め、今後のアジアにおけるベトナム人の役割の拡大化を窺わせるものであった。

新キャンパスでの交流締結のセレモニーには、仙台大学からは、朴澤理事長・学事顧問、関矢教授(JICA 協力・足漕ぎ車椅子研究支援)・入試創職部長、鈴木美生事業戦略室職員(日本私立大学協会国際交流委員会・ベトナム担当協力員)が参加し、首都大学からは、ド・フォン・クオン副学長、ファム・ドン・ドク・スポーツ健康科学部学部長、ファン・トラン・キエン・職業教育学部長、グエン・ティ・キム・ソン開発協力化学管理部長、ファム・ティ・ミン総合サービスセンター長、および学生等が参加しました。

<報告：朴澤泰治理事長・学事顧問>

